

	書名	著者	出版社	コメント
1	学年ビリのギャルが1年で偏差値40を上げて慶應大学に現役合格	坪田信貴	角川書店	とても感動的で刺激を与えてくれる
2	星の王子様	サンテグチュベリ	新潮文庫	読んでいる途中で夢中になれる
3	解体新書	杉田玄白	講談社学術文庫	医学に興味がある人におすすめ
4	ハリーポッター	J・K・ローリング	静山社	スリルとサスペンスに富んだおもしろさがたまらない
5	永遠の0	百田尚樹	講談社学術文庫	昔のことを知ることができ、感動した
6	バッテリー	あさのあつこ	角川文庫	本が苦手な人もこれならすぐ面白く読める
7	こころ	夏目漱石	新潮文庫	人間のエゴイズムと孤独をつきつめた物語
8	友情・初恋	武者小路実篤	新潮文庫	友人っていいなと思える本
9	山月記・李陵	中島敦	新潮文庫	中国の古典をもとにした中島敦の名作
10	100万回生きたねこ	佐野洋子	講談社	子供向けの話に思えるが実は深い大人の話だと思う
11	図書館戦争	有川浩	角川文庫	図書館をめぐる近未来小説
12	ホームレス中学生	田村裕	ワニブックス	最初からの展開が衝撃的だった
13	白い牙	ジャック・ロトン	新潮文庫	自然と人間の関係を動物の目をとおして描いた
14	100回泣くこと	中村航	小学館	精緻でキュートな恋愛小説
15	阪急電車	有川浩	幻冬舎	見慣れている場所が舞台上で身近に感じられる
16	西の魔女が死んだ	梨木香歩	新潮文庫	読んでいくうちに主人公といっしょに成長してしまうような不思議なお話
17	くもの糸	芥川龍之介	偕成社文庫	中学時代に読んでおもしろかった
18	学問のすすめ	福沢諭吉	PHP文庫	福沢諭吉の言葉に感動を受けた
19	ホットロード	紡木たく	集英社文庫	現代の若者の恋愛、友人関係を描いた
20	ロミオとジュリエット	シェイクスピア	新潮文庫	争いの中の純愛が感動的だ
21	手紙屋 〈蛭雪編〉～私の受験勉強を変えた十通の手紙	喜多川 泰	ディスカヴァー・トゥエンティワン	何のために勉強するのかがよくわかる
22	手紙屋 ～僕の就職活動を変えた十通の手紙～	喜多川 泰	ディスカヴァー・トゥエンティワン	何のために就職するのか、モチベーションが高まる
23	国盗り物語	司馬遼太郎	新潮社	人の野望について考えさせられる
24	独学のすすめ	加藤秀俊	筑摩書房	勉強しよう！という気持ちになる
25	本田宗一郎からの手紙	本田宗一郎	PHP研究所	シンプルな考え方が素敵
26	流星ワゴン	重松清	講談社	ドラマよりも原作が断然おもしろい
27	お家さん	玉岡かおる	新潮社	戦前の神戸の大商社鈴木商店の女主人の人生と日本の近代史とを重ねるとおもしろい
28	下町ロケット	池井戸潤	小学館文庫	技術者としての主人公のプライドが熱い
29	容疑者Xの献身	東野圭吾	文春文庫	主人公と犯人の関係がうまく描かれている
30	ゴールデンボーイ -恐怖の四季春秋編-	ステイン・キング	新潮文庫	人権とは何かを考えさせられる
31	さいはての島へーゲド戦記	A.K.ルグウィン	岩波書店	不思議な能力をもつゲドをめぐる冒険ファンタジー
32	宇宙船ビーグル号の冒険	A・E・ヴァン・ホーク	創元SF文庫	科学というもののあり方に警鐘を鳴らした古典的SF作品
33	沈黙	遠藤周作	新潮文庫	中学時代に読んで、この世に生きることを許された気がした
34	ルリボシカミキリの青	福岡伸一	文春文庫	この世の不思議と新しいものの見方をわかりやすく教えてくれる
35	坂の上の雲	司馬遼太郎	文春文庫	秋山兄弟、正岡子規の力強く、また松山人らしいほのぼのとした生き様がすばらしい

	書名	著者	出版社	コメント
36	英語シャドーイング練習帳	玉井健	コスモピア	英語リスニング、発音を基礎から学習できます。英語学習に一押しの1冊
37	ジーニアス英和辞典(第5版)	南出康世	大修館書店	英語辞典なくして英語学習なし！まず第一におすすめなのがこの辞書
38	ボクの音楽武者修行	小澤征爾	新潮文庫	こういう生き方にも憧れます
39	春琴抄	谷崎潤一郎	新潮文庫	究極の純愛とは何か
40	春の雪	三島由紀夫	新潮文庫	ついに結ばれることのない、禁じられた恋の物語
41	センセイの鞆	川上弘美	文春文庫	様々な恋愛のあり方がある
42	もの食う人々	辺見庸	角川文庫	飽食と言われる日本に暮らす私たちに豊かな「食」とは何かを考えさせてくれる
43	人間失格	太宰治	新潮文庫	人が人として生きることを問う小説
44	複合汚染	有吉佐和子	新潮文庫	食物添加物、農薬などを問題にした古典的な本
45	変身	カフカ	新潮文庫	人間の運命の理不尽、不合理さについて考えさせられる
46	未来イソップ	星新一	新潮文庫	有名な寓話を作者が作り替えた物語
47	芽むしり仔撃ち	大江健三郎	新潮文庫	山村に閉じ込められた少年達の愛と連体を描いた
48	赤と黒	スタンダール	新潮文庫	貧しい美少年が権力を手に入れようとして生きる姿を描いた
49	忘れられた日本人	宮本常一	岩波文庫	辺境の地で黙々と生きる日本人をつづった民俗学の名著
50	塩狩峠	三浦綾子	新潮文庫	自己の犠牲により大勢の命を救った青年の生き方を描き生きるこの意味を問う
51	それでもなお、人を愛しなさい	ケント・M・キース	早川文庫	人々を勇気づける人生訓、「逆接の10カ条」
52	あゝ野麦峠	山本茂美	角川文庫	過酷な状況に耐え働き続けた少女達の姿を描いたドキュメンタリー
53	苦界浄土	石牟礼道子	講談社文庫	水俣病に苦しみながらも生きていくことをとおして人間を問う
54	火垂るの墓	野坂昭如	新潮文庫	戦争の悲惨さを美しくも悲しく描いた名著
55	ゾウの時間ネズミの時間	本川達雄	中公新書	時間と生き物の関係を科学的な視点から見直した
56	スローカーブをもう一球	山際淳司	角川文庫	スポーツに見える一瞬の生の輝きを鮮やかに描いた
57	項羽と劉邦	司馬遼太郎	新潮文庫	「史記」をもとにし、中国の二人の英雄をとおして歴史と人間を描いた
58	火の鳥	手塚治虫	講談社	人間を真正面から取り上げた、あまりに志の高い長編漫画
59	風葬の教室	山田詠美	新潮社	繊細でときには危うい思春期の少年少女の感性が描かれている
60	ライ麦畑でつかまえて	サリンジャー	白水社	16歳の少年のから見た大人の世界と少年の生き方を描いた
61	コインロッカー・ベイビーズ	村上龍	講談社文庫	コインロッカーの中でもう一度誕生した命を描いた近未来小説
62	ビタミンF	重松清	新潮文庫	しみじみと生きる勇気がわいてくる
63	あなたと読む恋の歌百首	俵万智	文春文庫	和歌をとおして様々な恋を考える
64	詩のころを読む	茨木のり子	岩波ジュニア新書	詩のすばらしさに眼を開かれる
65	初めての文学 村上春樹	村上春樹	文藝春秋社	村上春樹の短編集で読みやすい
66	伊豆の踊子	川端康成	新潮文庫	学生と踊り子の出会いと恋を描いた名作
67	氷点	三浦綾子	角川文庫	愛とか罪とか赦しについて考えさせられる
68	赤ひげ診療譚	山本周五郎	新潮文庫	貧しい人々を救おうとする医師をとおして、生きる人間の姿を描いた
69	さおだけ屋はなぜ潰れないか	山田真哉	光文社新書	「目からうろこ」のエピソードがたくさんあり生活に役立つ
70	蛍川・泥の川	宮本輝	新潮文庫	川を舞台に人の世の哀切を描いた名作

	書名	著者	出版社	コメント
71	おとうと	幸田文	新潮文庫	若くして死んだ弟への姉の深い愛情を描いた
72	テロルの決算	沢木耕太郎	文春文庫	政治家の暗殺を執行した若者の軌跡を独自に取材した
73	賢者の贈りもの	O・ヘンリー	新潮文庫	あまりに有名な短編小説集
74	戦艦大和ノ最期	吉田満	講談社文芸文庫	書かすにはいられなかった戦争の記憶
75	金閣寺	三島由紀夫	新潮文庫	美しいものに対する憧れと憎しみをとおして人間を描いた名作
76	小説十八史略	陳舜臣	講談社文庫	中国の歴史を身近に理解できる
77	遠野物語	柳田國男	角川文庫	民俗学の古典的書籍で読み物としてもおもしろい
78	檜山節考	深沢七郎	新潮文庫	人間存在の意味と矛盾を正面から考えた
79	博士の愛した数式	小川洋子	新潮文庫	悲しく、暖かい愛の物語
80	生きがいについて	神谷美恵子	みすず書房	「生きがい」という言葉が広まるきっかけになった本
81	死をどう生きたか	日野原重明	中公新書	医学をとおして生と死を見つめる
82	俺様の宝石さ	浮谷東次郎	筑摩書房	若者の痛々しいまでのみずみずしさを文章した
83	シートン動物誌	アーネスト・T・シートン	紀伊國屋書店	動物や科学が身近になる、古典的作品
84	利己的な遺伝子	リチャード・ドーキンス	紀伊國屋書店	遺伝子の役割ついて合理的に考えをすすめるとうなる
85	ファーブル昆虫記	ジャン=アンリ・ファーブル	岩波文庫	身近な自然を観察し自然と人間の関係を考えさせる古典的名著
86	沈黙の春	レイチル・カーソン	新潮文庫	環境問題と化学物質の関係を述べた古典的な本
87	動的平衡	福岡伸一	木楽舎	「生物を分解した部品を組立てても生物にはならない」など分子生物学から見た生命現象
88	ビーグル号航海記	ダーウィン	平凡社	ダーウィンの眼をとおして南米を旅する
89	ワンダフルライフ	ジェイ・グールド	早川書房	カンブリア紀にはまる
90	生命とは何か	シュレディンガー	岩波文庫	物理学者が生命に迫るところが面白い
91	理不尽な進化	吉川浩満	朝日出版社	「進化論」が面白くなる
92	強い者は生き残れない	吉村仁	新潮社	「進化論」に対する新しい見解が興味深い
93	生物と無生物の間	福岡伸一	講談社	分子生物学の歴史が面白い
94	二重らせん	ジェームス・ワトソン	講談社	二重らせんの発見を追体験できる
95	脳の中の幽霊	ラマチャンドラ	角川文庫	脳の不思議に近づける
96	僕らは星のかけら	マーカス・チャウン	SB文庫	原子の生成から宇宙が見られる
97	ご冗談でしょう、ファインマンさん	ファインマンサン	岩波書店	ユーモアたっぷりで、物理学者に興味を持てる
98	量子革命	クマル	新潮社	量子論100年の歴史が興味深い
99	数の悪魔	エンツェン・スベルガー	晶文社	数学が身近に感じられる
100	世界で一番美しい海のいきもの図鑑	吉野雄輔	創元社	美しい不思議ないきものに癒され見飽きない